

今週のことば「忠告」

《聖書》マタイによる福音書 18:15-20

忠告

私たちは誰でも人から忠告されるとい
やなので、すぐにおこってしまいます。
人の足りない点にはよく気がついて人を
責めたりしてしまうのに、自分の事にな
ると気がつかない事が多いですね。

自分では認めたくない事ですが、回り
の人が自分の足りない事を見ていて、忠
告してくれます。人から忠告されても受
け入れず、すぐに忘れてしまうと、なか
なか自分の欠点や、まずい点を直してい
こうとしなくなります。

互いに兄弟のように相手の事を思って
いるのなら、遠慮せずにお互いの足りな
い点や悪い点を忠告しあう事が大切です。
ただ、お互いに相手の事を責めるよう
なってしまうと、かえって忠告しなかつ
たほうがよかったという結果になつてし
まいます。

まず私たちに求められている事は、自
分も含めてお互いに少しでも成長しよう
という気持ちを持つ事です。今の自分の
現状に満足していて、変わりたくない
と思っている人に、ただ忠告してもかえ
ておこらせるだけに終わってしまいます。

まずそのためには、お互いに相手の事
を知るように努力する事が大切です。そ

の人がなぜそのような行動をしたのか、
何か原因があるはずですが、結果だけ見て
責めるのではなく、一緒に原因を探す事が
大切です。自分一人では原因を取りのぞ
けない事があります。お互いのささえが
あってこそ、自分も変わりたい、成長し
たいと思うものです。

教会

今日の福音の最後に、「二人または三
人がわたしの名によって集まるところに
は、わたしもその中にいるのである」と
いう言葉があります。

これは教会の事を指して言われた言葉
です。教会はもともと「集まる」という
言葉からできました。しかも、ただ集ま
るのではなく、イエスの名によって集ま
るところが教会といわれています。

しかし、その教会の中で本当に兄弟同
士忠告しあっているのでしょうか。ただ集
まって来て、みんなと一緒に神に感謝し
ているだけでは足りないのです。神を通
してお互いが兄弟として招かれているの
です。兄弟の事を何も知らずに、ただ神
に向かって祈っているだけでは足りない
のです。

集まっている者同士でまずよくお互い
の事を知りあい、忠告すべきところはお
互いに忠告しあってよりよい集まり（教
会）にしていきましょう。

年間第23主日A年（瀧野正三郎）